

平成23年7月19日
記者発表

[記者発表資料]

西九州自動車道 唐津伊万里道路

北波多地区のり面対策検討委員会の開催について

国土交通省 佐賀国道事務所が整備を進めている西九州自動車道唐津伊万里道路のうち、唐津IC(インターチェンジ)～(仮称)北波多IC(8km)については、平成23年度の完成を目指し鋭意事業を進めてまいりました。

当該区間は地すべり地帯を通過するため慎重に事業を進めてまいりましたが、平成22年の梅雨時期の大雨で北波多IC付近の切土斜面において地すべり兆候が発生したため、対策工事を行いながら、調査・観測等を実施してきました。

しかしながら、これまでの通年の調査・観測等の結果、従来の対策工事だけでは十分ではないことが判明したため、学識経験者等からなる「のり面対策検討委員会」を別添のとおり開催し、十分な安全を確保できる対策を検討することとしました。

唐津IC～(仮称)北波多IC間のうち終点側の(仮称)千々賀山田IC～(仮称)北波多IC間(3.5km)については、1日も早い供用を目指して取り組んでまいりますが、新たな追加対策の設計・施工に2年程度要すると見込んでおり、平成25年度の供用となる見通しです。

なお、唐津IC～(仮称)千々賀山田IC間(4.5km)については、これまでどおり平成23年度に完成する見通しです。

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 佐賀国道事務所

電話：0952-32-1151（代表）

技術副所長 すえおか あきら 末岡 彰（内線204）

工務課長 いとう つとむ 伊藤 努（内線411）

(別添)

北波多地区のり面検討委員会の概要

1. 第一回のり面検討委員会の開催

開催日時：平成23年7月25日（月） 10時00分 ～

会 場：国土交通省 佐賀国道事務所 4階会議室
(佐賀市 新中町5-10)

2. 主な議題

- ・これまでの経緯の説明と地すべり形状等の確認
- ・対策工法の検討

3. 委員名簿

委員長 荒牧軍治 佐賀大学名誉教授 (構造工学・地震工学)

委員 江崎哲郎 九州大学名誉教授 (地盤工学・地盤環境工学)

棚橋由彦 長崎大学大学院工学研究科教授 (地盤工学)

末次大輔 佐賀大学低平地沿岸海域研究センター准教授
(地盤工学)

野口幹展 佐賀県交通政策部道路課長

竹内克志 唐津市建設部長

黒川義昭 伊万里市建設部長

事務局 九州地方整備局 佐賀国道事務所

※検討委員会の取材について

- ・取材を希望される場合は、事前に問い合わせ先までご連絡下さい。
- ・取材・撮影される場合は、会議冒頭の「あいさつ」までとさせていただきます。
- ・結果については、委員会の結論をとりまとめ次第、当事務所ホームページに掲載いたします。
(<http://www.qsr.mlit.go.jp/sakoku/>)

○唐津伊万里道路【唐津IC～(仮称)北波多IC】の概要

唐津伊万里道路【唐津IC～(仮称)北波多IC】は、西九州自動車道の一部を構成する路線であり、九州西北部～福岡都市圏における相互交通の利便性の向上等、一般国道202号の代替路線として地域経済の活性化に大きく寄与する道路です。

【位置図】



【対象のり面】



【概要図】



【今後のスケジュール】

- H23.07～H23.08 のり面对策検討委員会(2回開催予定)
 - H23.09～H23.12 調査・設計
 - H24.01～ 工事
- (H25年度供用目標)